

主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造  
～学習活動の振り返りを次につなげる工夫を通して～

I 研究の内容

1. 主題設定の理由

本校では、一昨年まで「心豊かで主体的に活動する生徒の育成」という研究主題のもと、研究を進めてきた。甲州市「確かな学力」育成プロジェクトの「学級づくり・集団づくり」に着目し、QU アンケートを活用した実践を行うなど、各学級のより良い集団作りと、集団としての質の向上を図ってきた。また、QU アンケートの活用を継続しながら、同プロジェクトの「授業づくり・授業改善」にも注目し、副主題を「集団作りと授業づくりの実践を通して」と設定し、集団作りと授業づくりの両面から研究を進め、学びあい支えあう学級集団を目指すことができた。

特に、授業と家庭学習の有機的な結びつきを目指して、帰りの会の前に「家庭学習スタンバイ」の時間を設定し、取り組んでいる。さらに、基礎学力の定着を目指したランクアップテストや定期テストでの取り組みの充実の他、生徒の主体的な学習への働きかけを継続することで、生徒の意識と学習習慣の定着に効果がでている。

昨年度から本校は3年間、県教育委員会から「主体的・対話的で深い学び推進事業」の推進校の指定を受けている。そこでこれまでの研究の成果を生かしつつ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造に向けた研究を進めていき、2021年全面実施の新学習指導要領への円滑な移行と、それに先立つ適切な教育課程の編成を図り、確かな学力の向上が実現できるよう、本主題を設定した。

副主題である「学習活動の振り返りを次につなげる工夫」には、授業や活動の中での振り返りの他に、授業改善のための振り返りという意味も込められている。昨年度は、授業における生徒の振り返りの活動を中心に研究を行ったが、本年度は、昨年度の研究を継続しつつ、さらに授業改善のための教師による「活動のしかけ」や、本校が行っている生徒の主体的な学習への働きかけの取組についても「振り返り」を行い、より主体的・対話的で深い学びの推進につなげていきたいと考える。

なお、研究を進めるにあたっては、研究成果の普及や情報発信を積極的に行うことで、広く全県的な取組の中心となることを目指している。

2. 研究の主な具体的取組内容

- ① 研究に向けた基礎学習
- ② 基礎研究
- ③ 研究に向けた基礎調査・実態把握
- ④ 授業実践に向けた研究

- 「主体的・対話的で深い学び」を実現するための工夫についての研究
- 各教科等における「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業研究
- ⑤ 先進校の事例研究
- ⑥ 研究内容及び成果の情報公開
- ⑦ 日常的な授業実践及び研究授業等に関わる評価の工夫
- ⑧ 大学教授からの指導・助言(講演)
- ⑨ 甲州市確かな学力育成プロジェクトの成果の振り返り
- ⑩ 先進校の公開研究会への参加とその還流

## II. 研究の成果と課題

### 1. 成果

「主体的・対話的で深い学び推進事業」推進校の指定を受け、2年目の研究となった。今年度は教師側の授業改善を中心に研究を行った。年間3回の拡大校内研究会に延べ100人を超える方々に参加していただき、様々なご意見をいただく中で、充実した研究を行うことができた。

「主体的」の部分では、「家庭学習スタンバイ」「自主学習ノート交換会」などにおいて、今まで行ってきた取組から、さらなる高みを目指し、より主体的に活動できるように改善をすることができた。また、校内研究にもワークショップを多く取り入れ、教師全員で作りに上げる研究を行うことができた。

「対話的」の部分では、ミーティングボードの活用、グループ活動の選択、座席の工夫等、対話的な学びを実現するために効果的な方法を研究することができた。2回の研究授業においても、「教具の利用やグループ活動の形態が、対話な学びに効果的であった」という意見を多数いただいた。

「深い学び」の部分では、上記の「主体的」「対話的」での成果が結果として深い学びにつながったと考えられる。多くの生徒が、自分の意見や考えをしっかりと持ち、他者と対話をすることで、考えを変容・発展することができていた。また、「家庭学習スタンバイ」においても、授業を振り返るだけでなく、授業で学んだことを発展させて学習する生徒も見られるようになり、さらに学びたいという思いが感じられるようになった。

### (2) 課題

今年度の研究として、様々な工夫に取り組んできたが、効果的な学習・指導の研究については深まったものの、生徒の変容をどのように見取るかといった評価の部分についてはさらに研究する必要性を感じた。今年度の実践を生かしながら、どのように評価につなげていくかを考えていきたい。

また、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫として「Q-U」を生かした学級づくりを実践しているが、「Q-U」の分析をより授業に反映させ、より主体的・対話的で深い学びが実現できるように授業改善を行っていきたい。